第８講
宗教戦争と絶対王政（フランス・ドイツ）

〔1〕**フランス**

A.ユグノー戦争

カトリーヌ…シャルル９世（ヴァロワ朝）の母后・摂政

貴族勢力の抑圧・ユグノー弾圧の緩和　→　ユグノー増大

ユグノー戦争（1562 ~ 98）

サンバルテルミの虐殺（1572）

アンリ３世の暗殺…ヴァロワ朝断絶（1589）

ブルボン朝の創始・**アンリ４世**（ユグノーの首領）がカトリックへ改宗

戦争終結…**ナントの王令**（1598．アンリ４世）

個人に信仰の自由

B.ブルボン朝〔1589 ~ 1792・1814 ~ 30〕

①**アンリ４世**

東インド会社設立（1604）・ケベック（現カナダ）建設（1608）

②**ルイ13世**（位1610 ~ 43）

三部会招集停止（1615 ~ 1789）

宰相**リシュリュー**

・**三十年戦争**（1618 ~ 48）への介入．新教徒を援助

③**ルイ14世（太陽王）**

宰相**マザラン**の登用

・**三十年戦争**への継続介入．**ウェストファリア条約**

・**フロンドの乱**（貴族の反乱）の鎮圧

・**王権神授説**を信奉…〝**朕は国家なり**〟（教育係ボシュエ）

・**官僚制・常備軍**

蔵相**コルベール**の登用

・**東インド会社再建**（1664）．**シャンデルナゴル・ポンディシェリ**建設

ルイジアナ植民地の建設

ナントの王令廃止（1685）　→　ユグノー（商工業者）の国外逃亡

ヴェルサイユ宮殿（バロック式）

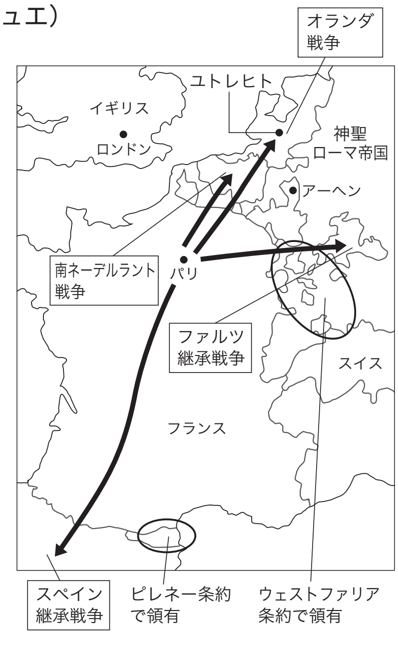
侵略戦争（**自然国境説**）

・南ネーデルラント継承戦争

・オランダ戦争

・ファルツ戦争

・**スペイン継承戦争**（1701 ~ 13）…**ユトレヒト条約**（1713）



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

・スペイン＝ハプスブルク朝の断絶（1700）に伴う王位継承権争い（VSブルボン家）

・フェリペ５世（ルイ14世の孫）の即位

・スペイン＝ブルボン朝の成立

・英仏植民地戦争（北米）

　・**ジブラルタル・ミノルカ島**（スペイン=ブルボン家→イギリス）

　・**ニューファンドランド・アカディア・ハドソン湾地方**（フランス=ブルボン家→イギリス）

④**ルイ15世**

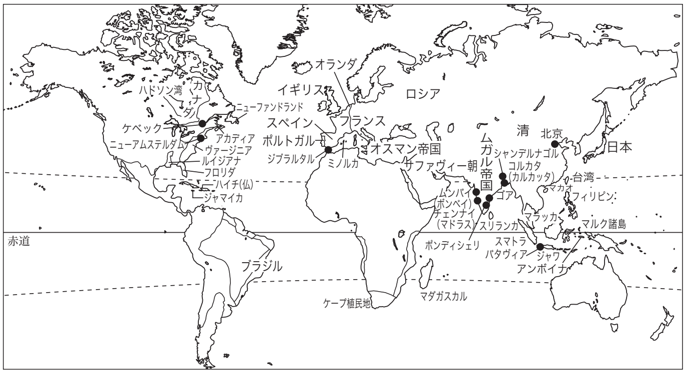
・**オーストリア継承戦争**（1740 ～ 48）

・**七年戦争**（1756 ～ 63．外交革命）…**フレンチ＝インディアン戦争**（北米）

プラッシーの戦い（インド）

⑤**ルイ16世**

アメリカ独立革命（1775 ～ 83）への参戦　→　財政破綻・フランス革命



〔２〕ドイツ

A．三十年戦争（1618 ～ 48）

①**ベーメン（ボヘミア）の反乱**

②クリスチャン４世（デンマーク王）の介入

③**グスタフ=アドルフ**（スウェーデン王）の介入

　・**ヴァレンシュタイン**…両王の介入を撃退

④フランス（宰相**リシュリュー**）の介入

ウェストファリア条約（1648）

「アウクスブルクの宗教和議」の確認　**カルヴァン派の公認**

スイス・オランダの独立を国際的承認

仏…アルザス獲得

神聖ローマ帝国の有名無実化…領邦の完全主権を承認

B．プロイセン

起源

ブランデンブルク辺境伯領

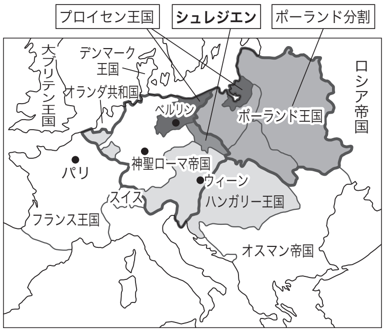
ホーエンツォレルン家支配（1415以降）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ドイツ騎士団領（13Ｃ建設）　→　**プロイセン公国**（1525）
両国の合同（1618）
・**グーツヘルシャフト**（16Ｃ以降）…**ユンカー**（領主貴族）による農場領主制，西欧に穀物を輸出
①フリードリヒ＝ヴィルヘルム…ドイツ三十年戦争に参戦
②フリードリヒ１世…スペイン継承戦争への参戦　→　**プロイセン王国**（1701 ～ 1918）成立
③**フリードリヒ＝ヴィルヘルム１世**「兵隊王」
④**フリードリヒ２世**…**サンスーシ宮殿**（**ロココ式**）建設
ヴォルテールとの親交．**啓蒙専制君主**　**“君主は国家第一の下僕”**
オーストリア継承戦争・七年戦争への参戦　→　シュレジエン獲得
第１回ポーランド分割（1772）に参加

Ｃ.オーストリア

起源…対**マジャール人**のための辺境伯領
ハプスブルク家
オーストリア支配（13Ｃ）　→　神聖ローマ皇帝位の世襲（1438 ～）
複合民族国家…チェック人（ベーメン）・マジャール人（ハンガリー）など支配
①**オーストリア継承戦争**（1740 ～ 48）
原因…**マリア＝テレジア**の帝位継承
マリア＝テレジアのオーストリア皇帝即位を承認
プロイセンは**シュレジエン**獲得
②**七年戦争**（1756 ～ 63）
原因…マリア＝テレジアによるシュレジエン奪回戦争
外交革命（**ハプスブルク**と**ブルボン**の提携）
プロイセンの**シュレジエン**領有を確認
ヨーゼフ２世　**啓蒙専制君主**
諸改革（**宗教寛容令**・**農奴解放**）は失敗



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第８講　テスト

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　旧教国フランスでも①16世紀半ばにはユグノーと呼ばれるカルヴァン派の新教徒勢力が無視できなくなり，②シャルル10世と母親の摂政③カトリーヌ＝メディシスのもとで④ユグノー戦争が勃発した。

2　フランス東インド会社は①1664年に再建されて，②ヴォルテールのもとでインドに進出し，③ポンディシェリ・シャンデルナゴルを基地として④イギリスと対抗した。

3　①ルイ14世が②ナントの王令を③発布しカトリック主義を前面に打ち出したことが，④職業召命説により蓄財に励む勤勉なユグノーが国外に逃亡しフランスに産業の衰退をもたらした。

4　ポルトガルは1498年に①ヴィジャヤナガル王国のインド・カリカットにヴァスコ＝ダ＝ガマが到達，1510年には②ゴアに総督府（初代総督アルブケルケ）を置き，1511年には③マラッカを獲得，1517年に広州で明と通商を開き，1557年には④マニラに居住権を得た。

5　イギリスは①1783年のフレンチ＝インディアン戦争の②パリ条約でカナダ・③ミシシッピ川以東のルイジアナ・④フロリダ・西インド諸島の一部およびセネガルを獲得した。

6　1740年，①フリードリヒ２世（大王）は，②オーストリアのマリア＝テレジアが③ホーエンツォレルン家の全領土を継承したのに異議を唱えて，資源の豊富な④シュレジエンを占領した。

7　①エルベ川以東のヨーロッパ地域は②西欧諸国に穀物を輸出するため，領主が輸出用穀物を生産する直営地経営を行う農場領主制（③グーツヘルシャフト）が広まり，農奴に対する支配が④軽減された。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

８　事実の観察から一般法則を導く帰納法による経験論を説いたのがイギリスの①フランシス＝ベーコン，数学的な論理法をもちいる演繹法による合理論をうちたてたのがフランスの②デカルト，三十年戦争中に『戦争と平和の法』を書いたのが国際法の父ネーデルラントの③カント，自然状態を「万人の万人に対する闘争」として国家主権の絶対性を結論したのがイギリスの④ホッブズ，不法な統治への人民の反抗の権利を擁護したのがイギリスのロックである。

解答

１　②→シャルル９世　２　②→コルベール　３　③→廃止
４　④→マカオ　５　①→ 1763 年　６　③→ハプスブルク家
７　④→強化された　８　③→グロティウス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。